

夢乃後
上

特別
14
696
35



696
35

享保十五戌年十月廿七日

齋藤御遊云

見禪院孫と奉申

一切儀申入奉月廿八日 上使松平屋直為監度

酒井頼俊後身申書

申利三孫御遊後身申書

仰出御遊後身申書

上意申度御遊後身申書

仰出御遊後身申書



山平屋
五口所
文庫

中々了紙合は此等の儀あり。蓋中河躍り
 揚魁打並行魁を多量し列々存則第ニ丁目
 三丁目ハ与創系部四系通有甚古古能擧ぐ
 行焼早々中流大屋根板持々上々之を
 家々々々之儀々々一着板保名の居々々
 製行焼同々々々々々々々々々々々々々々々
 年々行世話年々々々々々々々々々々々々々
 日々々々々々々々々々々々々々々々々々々々
 切子能々々々々々々々々々々々々々々々々々
 紙合々々々々々々々々々々々々々々々々々々

一 即先代製有々々々々々々々々々々々

御好早速々々々々々々々々々々々々々々

一 甚甚追々々々々々々々々々々々々々

藤園大吉	辰園彦虎	金江屋常
江村新助	辰園之助	馬承玉拍
山本万四郎	宮崎長美	高江常世
村山守部		

右之方及後々々々々々々々々々々々々々々々
 之儀中納人兼々々々々々々々々々々々々々
 右役者々々々々々々々々々々々々々々々々々
 御上儀々々々

東記

一 九月廿日此日... 九月廿日此日... 九月廿日此日... 九月廿日此日... 九月廿日此日...
 一 九月廿日此日... 九月廿日此日... 九月廿日此日... 九月廿日此日... 九月廿日此日...
 一 九月廿日此日... 九月廿日此日... 九月廿日此日... 九月廿日此日... 九月廿日此日...

一 九月廿日此日... 九月廿日此日... 九月廿日此日... 九月廿日此日... 九月廿日此日...
 一 九月廿日此日... 九月廿日此日... 九月廿日此日... 九月廿日此日... 九月廿日此日...

一 九月廿日此日... 九月廿日此日... 九月廿日此日... 九月廿日此日... 九月廿日此日...
 一 九月廿日此日... 九月廿日此日... 九月廿日此日... 九月廿日此日... 九月廿日此日...

東記

一 九月廿日此日... 九月廿日此日... 九月廿日此日... 九月廿日此日... 九月廿日此日...
 一 九月廿日此日... 九月廿日此日... 九月廿日此日... 九月廿日此日... 九月廿日此日...

おし由

二年ハ川の沿うやとんまし一層井
小林中下山口の四ヶ所より一層
哥一掃妓狂言興行「小林」ハ
曾我一幸一中下より一四拾七人
山口ハ三好長一慶布式の仕立
前代未聞と申す為年よりハ
六七十年之後の年

一九月廿八日百姓界一人御目見お海
一廿月二日三日六日 山後後三々日
御能言 御甘小家中並同の意社

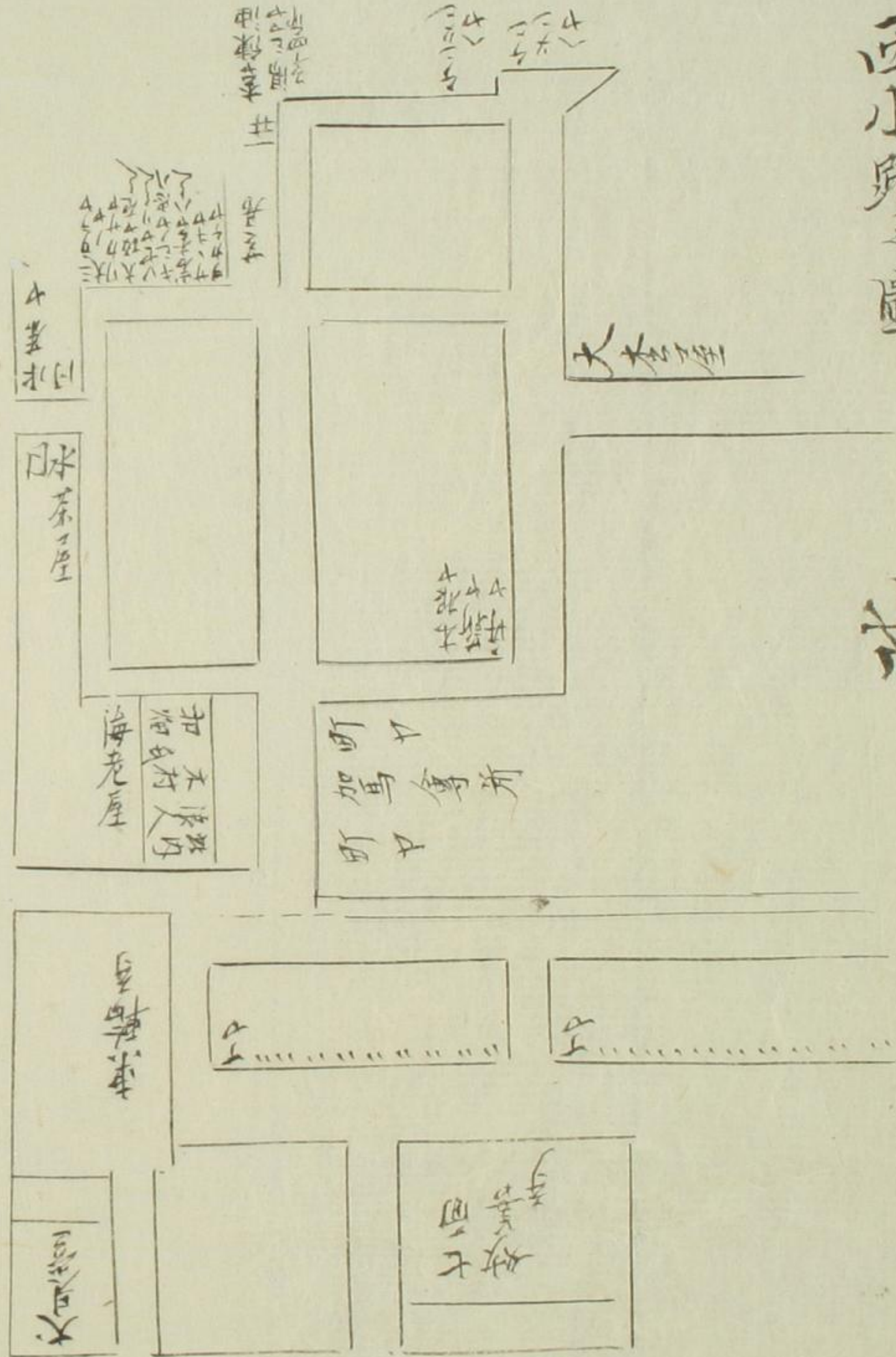
百姓界一人御見之

一西小路首界田土見原をそふ張了
町持端... 於女町...
山後... 於女七日...
西小路新地... 首界田土見
原三ヶ所新規... 取立...
地形... 築... 中... 又...

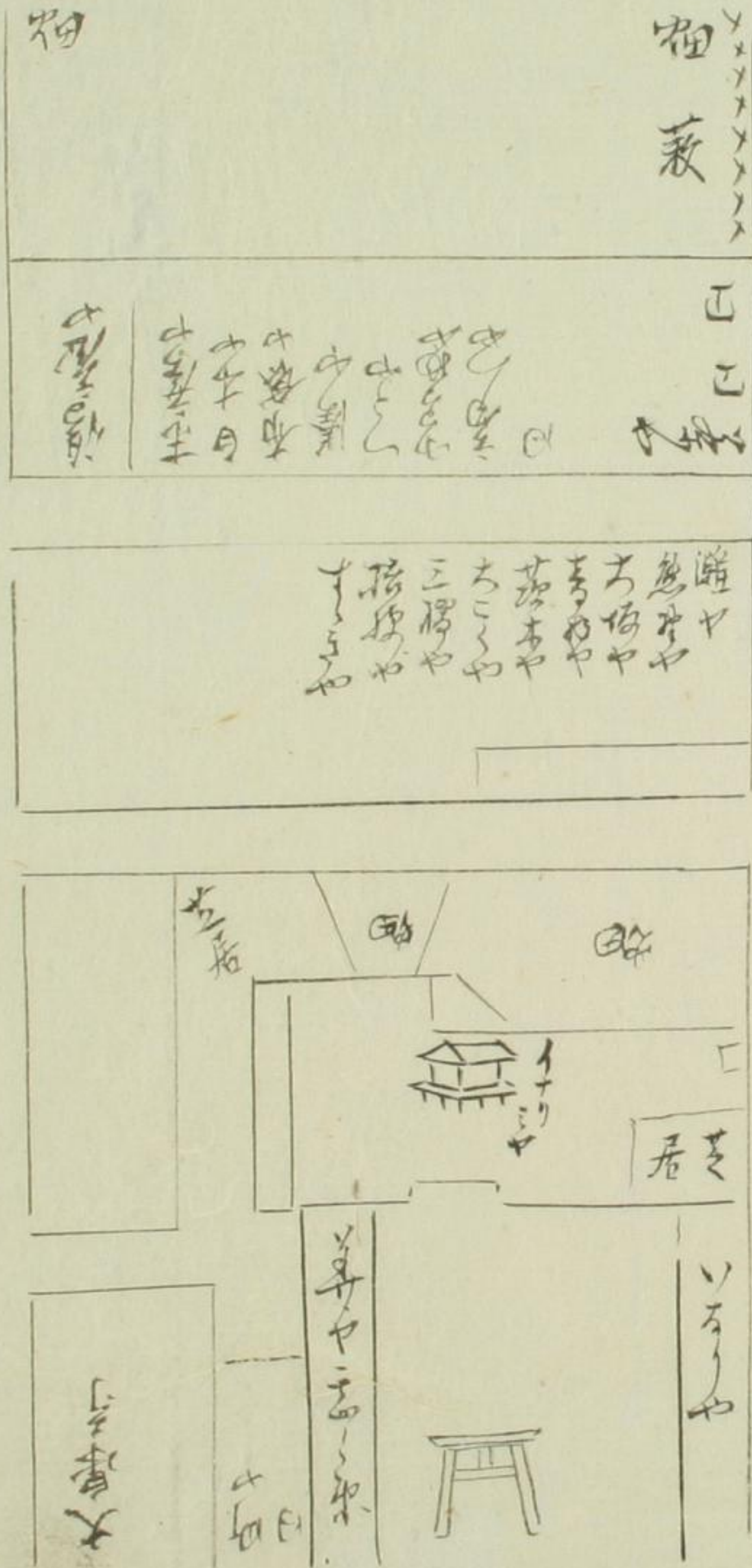
三ヶ所... 入...
之... 大概... 記... 如...

西小路之圖

北



葛田丁之圖



大和
寺
中
綱
中
下

丸
三
中
銭
中
小
同
知
中
三
宗
三
三
料
理
中
日
口

古子保十六年五月廿

一 西小路富士見原与廓家神上至夜半至山若草
若草知事町家者今夜抄撰書附以若草居此

東方

大関

辻井又平

大関

大神御馬

関脇

以人狂言者不知

関脇

若丸今丸

小結

川傍八重

小結

笹原御事

前頭

鉄 伊馬

前頭

馬六平家

同

安達若丸

同

世馬五段家

同

菅原御事

同

新水又御

同

目大若丸

同

若丸七

日	日	日	日	日	日	日	日	日	日
江島九吉	於釜無為門	左流又兵衛	海字半左門	萬清左門	邑枯字左門	只卜市左門	以支孫左門	穀良居	百足孫九市
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日
信濃兵衛	西南左助	竹枝源右門	梅本權左門	奥田半市	油治平	龜二店兵衛	玉詞源三市	佐野次左門	井析茂左門
									跡勘治左門

日

園

仁左門

鏡 二店七
官古路教馬

切井兵衛
官古路和國

其聲吉良	河内吉十	李得吉助	淺平治吉助	市平源九
其聲吉良	河内吉十	李得吉助	淺平治吉助	市平源九
其聲吉良	河内吉十	李得吉助	淺平治吉助	市平源九
其聲吉良	河内吉十	李得吉助	淺平治吉助	市平源九
其聲吉良	河内吉十	李得吉助	淺平治吉助	市平源九

大徳房の梅本權左門
田記之良の板谷九八

錫 ちんそん 二石り

中野底の 大沼市尺

志志帯系 鉄 惣尺

茶花の原身 茶花の尺

草 不々系 綿の信系

利半仁系 益濃清古

且小野六 伊勢系系

角の系系 東久尺

原中七尺 東南系尺

坂上動物 ちんそん系

大蔵尺七 可木小尺

西之方八下三寸

東之方八上三寸

西之方三寸

西小沼苗

西小沼苗

西小沼苗

西小沼苗

西小沼苗

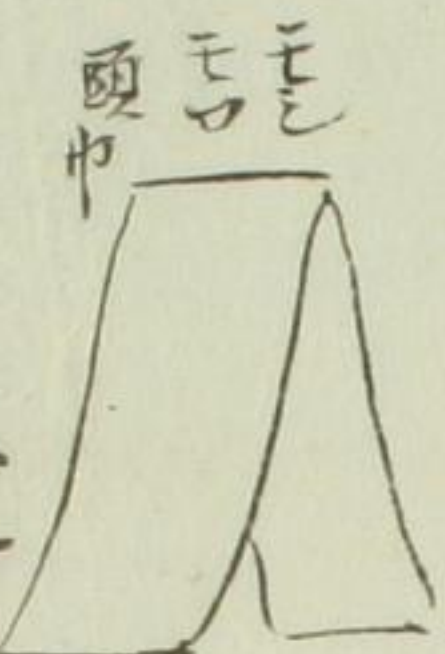
西小沼苗

産本 西 西四士 西 西部

塚 益々尺 小口尺尺
沼屋系系 丁子系系

襲

三選系系 鞘中系系

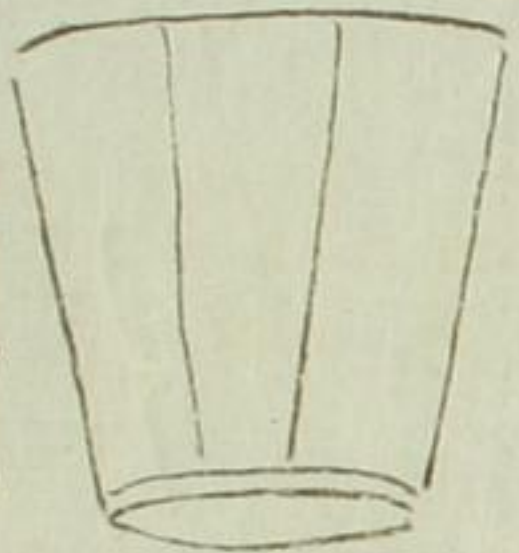


長或尺余系系... 諸士所の家系系... 和川不流中系系...

流行訊

と... 和川不流中系系... 以紙鬼一法解三目系系...

姉川 頭中



帯の流中系系... 折曲系系... 流利也...

石六姉川新系系... 形のを流中系系... 大帯の唯言是下...

善悪の事難し〜上意敬い地を拜し是の
事〜如何に曰ふ太平御覧目新出の如く幸社
事あり〜

享保十七年子

一 正月廿一日腰出城之上屋敷に門威成程百塔首座
門威屋敷雨の夜文即内城に於て

一 當御代々 作由し門威同く字々子

。條々 御條目温智政要
同巻記之故要不載

一 春去来事古道に屋敷再成し西山迄三浦倉
早成り〜其建馬士見承り爲事是日也

家々之日 御昌部増の職合也

歳旦 春去来東に爲事是西山 他多不

畜の大小は後後〜 尚時々詞々
知〜

初去乃〜 彰部 地方若

一 江戸御後駕方〜

殿様は如何に駕馬〜 此より御内事半力也

是れ如何に〜 享保八年集爲〜

〜 作由し〜 名々〜

〜 中〜

〜

津田縫殿

一 吉指伝者善哉母中將未見身新由の時行也
 神をさしひくわ中の子の河ありてさるる後
 老のり今も善思の表を山福福極
 善の先知の意先神古風程来てさるる
 一 昔指の去年也所は流流さるる(中略)と云
 尚善の道は善哉母中將未見身新由の時行也
 伴年成程し三子降りてありて法極善哉
 若果多人更向了交代の系大破の候もさるる
 目をさるる(中略)と云

一ヶ所 一ヶ所
 一ヶ所 一ヶ所
 一ヶ所 一ヶ所
 一ヶ所 一ヶ所
 一ヶ所 一ヶ所

新所 一ヶ所 大直流 二ヶ所
 清壽院 一ヶ所 善哉社 一ヶ所
 廣山社 一ヶ所 延社 一ヶ所
 赤塚社 二ヶ所 小金山 一ヶ所
 橋所七面 一ヶ所 北山 一ヶ所
 西小路 一ヶ所 廣井八樓 一ヶ所
 石貫高所 一ヶ所 海軍 一ヶ所

石之平端所 一ヶ所 岩流 一ヶ所
 隆又相模武の寺 一ヶ所 坂所 一ヶ所
 王善寺 尾廻所 車形 枇杷場
 新所 中野新道 大石

右編聖天子前力也山國分中云々々々お禮也云々
物致方々々々

一 育母 慶福尾羽部及篤以云云山内分中
皇使云云山内攝白皮云云山内中長三文字本
山馬云云山内攝中云云云云物致也善事云云
一 月云云云云云云云云縮細綸子席中古今
見有云云云云

古後村史云云山國言行云云山内云云
山書云云云云

山書云云云云

去年初云云上國

源敬公思古云云云云云云
執行尚特云云夜云云知云云云云云云
温和云云及云云云云云云
只海出云云改替云云云云
為禮聖皇云云及云云云云云云
云云云云云云云云

子三月

回奉行日

一 皇 孫皇下云云云云云云
二三軒如云云云云云云
不知云云云云云云
藤子 系祖家云云云云

イニヤカ
君のまゝに
今迄の
珍事
を
記す

廿二日 依りて記す
廿三日 依りて記す
廿四日 依りて記す
廿五日 依りて記す
廿六日 依りて記す
廿七日 依りて記す
廿八日 依りて記す
廿九日 依りて記す
三十日 依りて記す
一月 依りて記す
二月 依りて記す
三月 依りて記す
四月 依りて記す
五月 依りて記す
六月 依りて記す
七月 依りて記す
八月 依りて記す
九月 依りて記す
十月 依りて記す
十一月 依りて記す
十二月 依りて記す

一 昔年 昔年 昔年
二 昔年 昔年 昔年
三 昔年 昔年 昔年
四 昔年 昔年 昔年
五 昔年 昔年 昔年
六 昔年 昔年 昔年
七 昔年 昔年 昔年
八 昔年 昔年 昔年
九 昔年 昔年 昔年
十 昔年 昔年 昔年
十一 昔年 昔年 昔年
十二 昔年 昔年 昔年
十三 昔年 昔年 昔年
十四 昔年 昔年 昔年
十五 昔年 昔年 昔年
十六 昔年 昔年 昔年
十七 昔年 昔年 昔年
十八 昔年 昔年 昔年
十九 昔年 昔年 昔年
二十 昔年 昔年 昔年
二十一 昔年 昔年 昔年
二十二 昔年 昔年 昔年
二十三 昔年 昔年 昔年
二十四 昔年 昔年 昔年
二十五 昔年 昔年 昔年
二十六 昔年 昔年 昔年
二十七 昔年 昔年 昔年
二十八 昔年 昔年 昔年
二十九 昔年 昔年 昔年
三十 昔年 昔年 昔年
三十一 昔年 昔年 昔年
三十二 昔年 昔年 昔年
三十三 昔年 昔年 昔年
三十四 昔年 昔年 昔年
三十五 昔年 昔年 昔年
三十六 昔年 昔年 昔年
三十七 昔年 昔年 昔年
三十八 昔年 昔年 昔年
三十九 昔年 昔年 昔年
四十 昔年 昔年 昔年
四十一 昔年 昔年 昔年
四十二 昔年 昔年 昔年
四十三 昔年 昔年 昔年
四十四 昔年 昔年 昔年
四十五 昔年 昔年 昔年
四十六 昔年 昔年 昔年
四十七 昔年 昔年 昔年
四十八 昔年 昔年 昔年
四十九 昔年 昔年 昔年
五十 昔年 昔年 昔年

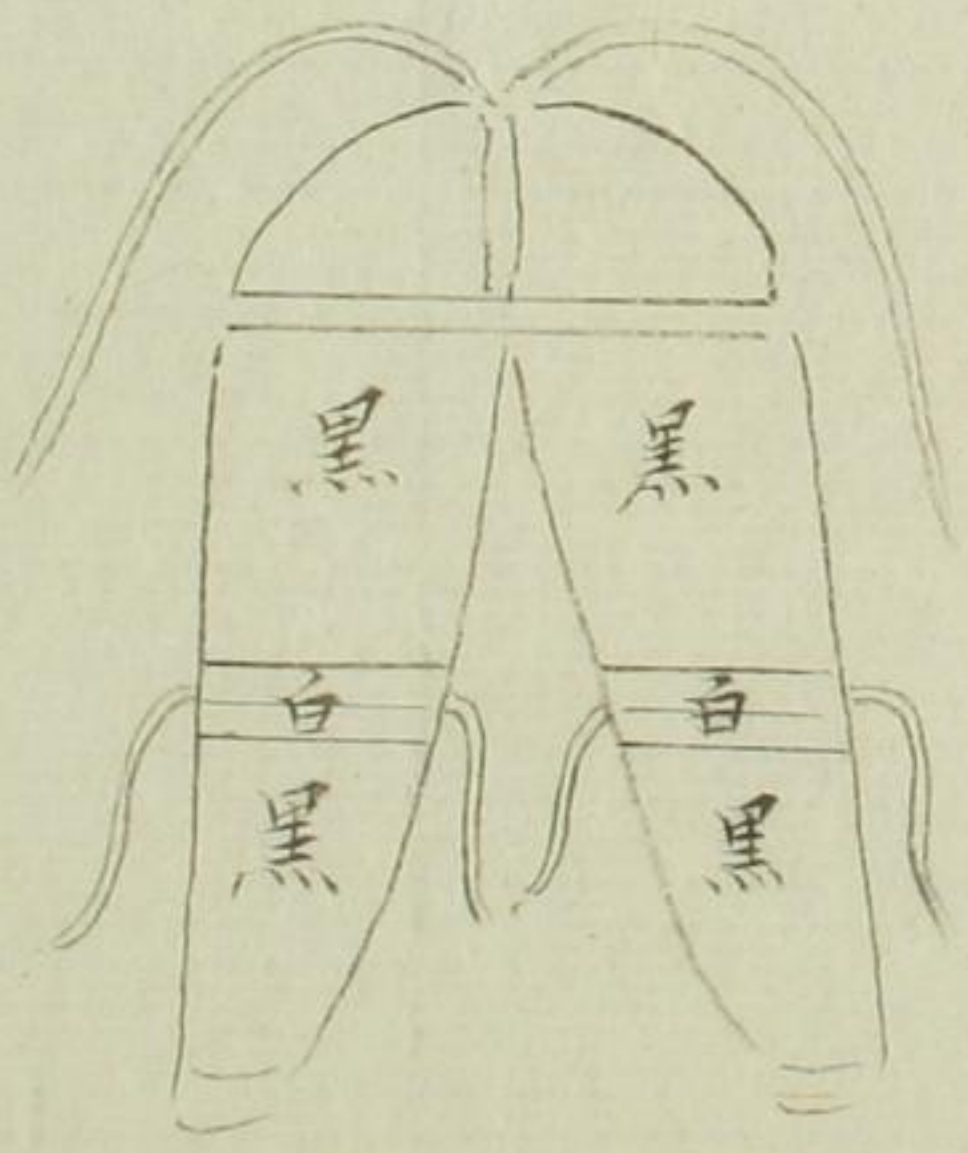
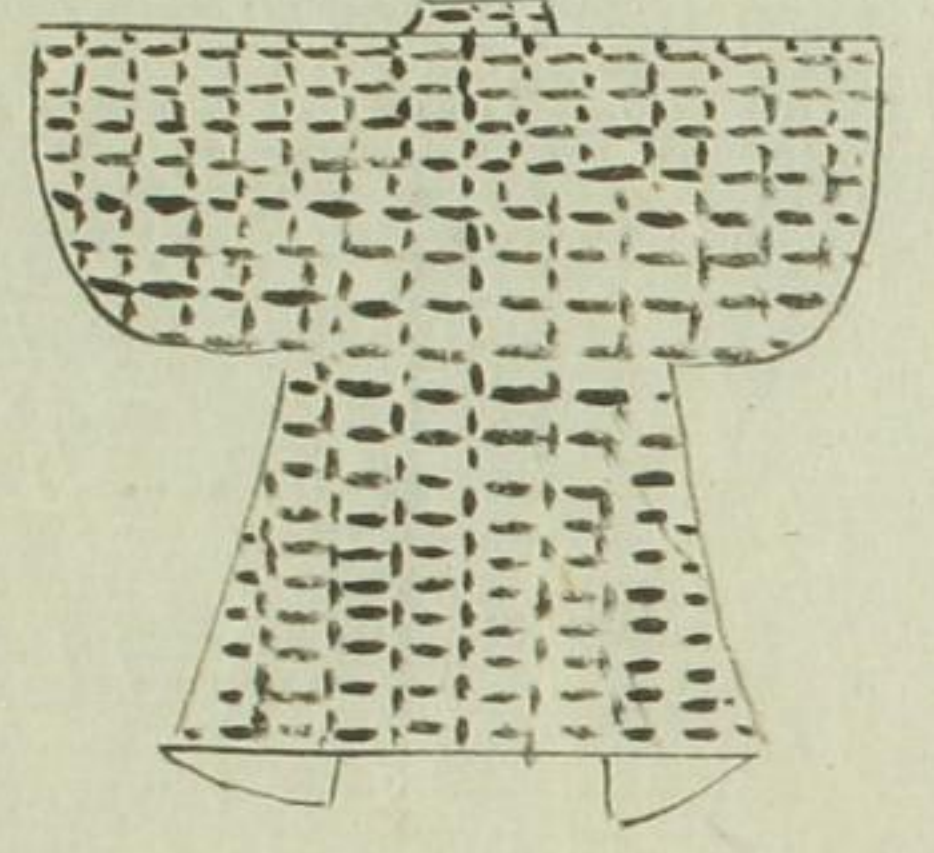
一 大層のゆき... 今年石を... 初し又... 小の... 去... 事...

... 業... 業...

一 ... 町... 行... 物...

... 前... 着... 張...

右 天 圖
 地白 十文 字黒



一 ...

一子記の書より本略の代りて武付に某料理
をその代りて中上代りて代りて代りて
今その代りて山科料理の代りて代りて代りて
其の代りて代りて代りて代りて代りて

持所私酒時行例

先見 如連 目連

先見 如連 目連 持所私酒時行例
先見 如連 目連 持所私酒時行例
先見 如連 目連 持所私酒時行例

死

死 持所私酒時行例
死 持所私酒時行例
死 持所私酒時行例

系遠水

系遠水 持所私酒時行例
系遠水 持所私酒時行例
系遠水 持所私酒時行例

リヤ

リヤ 持所私酒時行例
リヤ 持所私酒時行例
リヤ 持所私酒時行例

一 所中を夜に駕籠に京都より如し夜に待の先
柳灯の為 駕籠の如く刻 控所の如く駕籠解の組の如く
なすし 乃信かき 以て駕籠に候りてあり

一 所上四の殿に 進の舟山内川舟人方船屋を
本廿廿日江戸 御後駕馬車海道山内川舟

本月廿六日江戸 御後駕馬車由日景
御着城山進下 御後駕馬車由日景

各年子名りあり 御目具元有くあり
山中少くあり 山中少くあり

一 切紙中入公去十九日あり 夜書年右第書年五

山中 御後駕馬車由日景

上意廿日あり 御後駕馬車由日景

大御書候あり 上使黒田書初ありあり

御後 御後駕馬車由日景

上意有御後駕馬車由日景

御後 御後駕馬車由日景

御後 御後駕馬車由日景

御後 御後駕馬車由日景

三月廿五日

野寄可一学

ついでに
ついでに
ついでに
ついでに
ついでに

ついでに
ついでに
ついでに
ついでに
ついでに

ついでに
ついでに
ついでに
ついでに
ついでに

ついでに
ついでに
ついでに
ついでに
ついでに

ついでに
ついでに
ついでに
ついでに
ついでに

一 昔初十日の...

ついでに
ついでに
ついでに
ついでに
ついでに

ついでに
ついでに
ついでに
ついでに
ついでに

ついでに
ついでに
ついでに
ついでに
ついでに

ついでに
ついでに
ついでに
ついでに
ついでに

ついでに
ついでに
ついでに
ついでに
ついでに

ついでに
ついでに
ついでに
ついでに
ついでに

ついでに
ついでに
ついでに
ついでに
ついでに

一 富士見糸好...

ついでに
ついでに
ついでに
ついでに
ついでに

ついでに
ついでに
ついでに
ついでに
ついでに

一 乙女夜秋付行秋 乙女夜中を始し

以秋時頼入道青磁片の成鏡文の浮瑠璃の如し
世奇の毎日お夜諸人様はし家業とておこし
すはなれはあはれ秋の雨をなるとおこしあはれ行
行とておこしえんおこしとておこしおこし
酒のうらみおこしおこしおこしおこし
おこしおこしおこしおこしおこしおこし
おこしおこしおこしおこしおこしおこし
おこしおこしおこしおこしおこしおこし
おこしおこしおこしおこしおこしおこし

乙女夜中を始し
乙女夜中を始し
乙女夜中を始し

一 六月三日 祇園高島 夜入 挑灯籠の唐井を始し

十六日 試米川祭 山左んおこし 津屋馬試米の如し
元米の所 河原様おこし 是れ御集おこし 是れ
有る流星玉おこし 是れ御集おこし 是れ
御集おこし 御集おこし 御集おこし
ありおこし 御集おこし

一 富直系のお夜中 夜中おこし 圓方更おこし 是れ御集おこし

おこしおこしおこしおこしおこしおこし
おこしおこしおこしおこしおこしおこし
おこしおこしおこしおこしおこしおこし
おこしおこしおこしおこしおこしおこし

一 盆中おこし 八朔と西小治新代おこし 女確おこし 中夜おこし

おこしおこしおこしおこしおこしおこし
おこしおこしおこしおこしおこしおこし
おこしおこしおこしおこしおこしおこし
おこしおこしおこしおこしおこしおこし

歳之新... (vertical text)

今年... (vertical text)

殿... (vertical text)

時行... (vertical text)

一... (vertical text)

保... (vertical text)

一... (vertical text)

十二... (vertical text)

号... (vertical text)

... (vertical text)

大... (vertical text)

三... (vertical text)

美... (vertical text)

... (vertical text)

おし七徳あるは佐のう難人憎者まも
 なるかき腰にけりし 茶葉ふは白伊早吸お
 酒おし池を改し中あし古人の後合ま
 改年おろりまをま
 厚れく厚くく熟子浅黄の路をま
 川宿音次此より行りし

一 改年 町成まい改年別なま

下小井 尾宿改り 岩 浅井改り

清原 荒尾善長 因和波改り
我詳也

下津 安坂改り 赤坂善 粟田改り

一ノ宮 千子傳助 黒河川村改り

改年 榎橋十郎の
村上只守の

一 大改年 丹波世世二十日川 我若官社乃と具行
 大智昌若者改り

嵐七改り 岩井半改り 若川半改り

西園改り 中山新改り 根山常改り

勝山善改り 中村宗改り 山下金作

泉川半改り 若井花改り 大和仙改り

右 不才子山信は信者大分下り 善常一蘇分善我
 長田彦司百夜車石大常 中山新改り 善常入り 改
 天武成の改り 相成名物 善常花常 善常
 智新

市山 equal 嵐 equal

三保本 equal

右介のふき下り前より此方、其集は村新風
我々等亦事其集を以て領地事公候に候し此助等
御座居候儀領地事御座居候事申上り候し
候に候し候人候事候事候事候事候事候事候事
其集玉の御座居候事候事候事候事候事候事
候事候事候事候事候事候事候事候事候事候事
狂言の末の助事候事候事候事候事候事候事
大和山甚なり此化候事候事候事候事候事候事
評判のしびる事候事候事候事候事候事候事
一なるの是れ御座居候事候事候事候事候事候事

十月

公義 所蔵中候遊事候事候事鳴也
根候候事候事 此出限候事候事 作事

同九月も他も此是因事候事根候候事候事

このおんたうと 作事

十一

知事部中候事候事候事此其時、山下屋敷も御
座居候事候事候事此以強勢田候事候事候事

陸海横河賀上内中列、此着候事候事候事

入事大御下事候事列、此若一日、此迄、此師候

事一日、此迄、此川、此若成列、此若六、此内、此

山下屋敷、此入、此所、此事、七、此間、此過、此、此

切石、此後、此方、此候、此、此、此、此、此、此、此

割向大勢... 山... 極... 風鈴... 寺... 山...

右所休... 山... 代官... 別并

河村... 大... 安...

河和

右... 山... 休... 久...

山... 鳴海... 飯...

山... 尾...

四月十五日... 山...

御供申...

松井武部 河村... 山吹小武 嶋中...

小山... 山吹小武 嶋中...

山吹小武 嶋中...

山吹小武 嶋中...

山吹小武 嶋中...

山吹小武 嶋中...

山吹小武 嶋中...

山吹小武 嶋中...

山吹小武 嶋中...

山吹小武 嶋中...

天啓慶安年 石田信房 山向利氣 大橋勘助
小笠平八郎 三浦康俊 佐藤重房 望月信康
山平道得 中條信水 生駒元正 河村玄馬
星野武部 成瀬大和守

此供帳不載者以...

世園源宗 有原元正 五十人 山内清成 五十人 山内清成 五十人
五十人 小次郎 五十人 北条行十 五十人 北条行十 五十人
男書式 五十人 下書式 五十人 山内清成 五十人
合符通 五十人 山内清成 五十人 山内清成 五十人 山内清成 五十人
山内清成 五十人 山内清成 五十人 山内清成 五十人 山内清成 五十人
山内清成 五十人 山内清成 五十人 山内清成 五十人 山内清成 五十人

山内清成 五十人 山内清成 五十人 山内清成 五十人 山内清成 五十人
山内清成 五十人 山内清成 五十人 山内清成 五十人 山内清成 五十人
山内清成 五十人 山内清成 五十人 山内清成 五十人 山内清成 五十人
山内清成 五十人 山内清成 五十人 山内清成 五十人 山内清成 五十人
山内清成 五十人 山内清成 五十人 山内清成 五十人 山内清成 五十人
山内清成 五十人 山内清成 五十人 山内清成 五十人 山内清成 五十人
山内清成 五十人 山内清成 五十人 山内清成 五十人 山内清成 五十人
山内清成 五十人 山内清成 五十人 山内清成 五十人 山内清成 五十人

十月廿二日

右御成 石田信房 山内清成 五十人 山内清成 五十人 山内清成 五十人
滿仲 山内清成 五十人 山内清成 五十人 山内清成 五十人 山内清成 五十人
富士御將 山内清成 五十人 山内清成 五十人 山内清成 五十人 山内清成 五十人

今度山鹿將子山將場山鹿來守中上度
願書防制河村堅行防制堅行

一 水中山鹿將子水中山鹿將子

山園山鹿人山園山鹿人

作付早子中作付早子中

鎌倉山鎌倉山

并月山并月山

右場右場

覺

一 一收川 木壽

一 好藏

一 錫錫 一 揚揚 一 一好一好

水鹿將子水鹿將子

水鹿將子水鹿將子

水鹿將子水鹿將子

十月廿五日

小之保山

一 上志上志

一 下志下志

一 當掛當掛

一 當掛當掛

足輕頭二人は頭子のは定輕昼夜不序及び
醫門作竹田三碩見與了
為名政家亮竹田三月石丸散并小字を
山脈よりある言
退役或は知行は減る
竹田

一 老年喜多以園の奥例より日主喜屋屋八
中名竹田身事村金女小字人の中合
の中一は後よりある人仕物し一は之を
と字合は成りぬる言物これ
之合は成りぬる言物これ
之合は成りぬる言物これ

狂言に取組取ふは人言瀬川公利公利大為の
評判あり

喜屋屋伊八 連理作夜
金村屋小三

一 廣小路神明社内浮瑠璃を文竹中冬より
竹本渡更し我人程もひぬるは
一 以杖七寺草古萩中八年前を我の書と二
姉二役お初古合の大為り是のの評判を
入或る代渡せ給難を
専内

一 柳蔭亭より元七十日存の張合津
勢田より

毎夜一可くおろりの造る物着杯持て
左現勢因坊の種を設苗設三味線お離り
急をし目書し泣返り持てたれし
紙を法典内にて終し何事と是を
そめて女所形々物言の事
祇をててそそ存体古設第々
石の確るも代身事と造り所
りめさるる事
藤々のまうりて
櫻井さうさ
日一書月一
又高貴列

無言の元を保十六
はあし

張の蝶 張紙の竹細

蝶々を銘うる 其のよう

木芽回尔 佐田年

幾世縁 葉國

たもいりて解き

復入るる縁

不福縁 房壽院門

鏡の縁

善書門
是とたの
葉の縁
葉の縁
葉の縁

夜見世行燈言り或る年 枝三 二外 高き屋に如きあり

山形山好の籠 何れは世に門をくく 其の年 或る代 燈

ゆき流園子 思ひたりとありあはれなる所 其の年 高き屋に如きあり

二外 軒 其の年 高き屋に如きあり 其の年 高き屋に如きあり

其の年 高き屋に如きあり 其の年 高き屋に如きあり

元々 小高き 其の年 高き屋に如きあり

其の年 高き屋に如きあり 其の年 高き屋に如きあり

時行記 何れは世に門をくく 其の年 或る代 燈

以切線 入山 其の年 高き屋に如きあり

圓丸 其の年 高き屋に如きあり 其の年 高き屋に如きあり

同日 上使 其の年 高き屋に如きあり

圓丸 其の年 高き屋に如きあり 其の年 高き屋に如きあり

上使 其の年 高き屋に如きあり 其の年 高き屋に如きあり

上使 其の年 高き屋に如きあり 其の年 高き屋に如きあり

上使 其の年 高き屋に如きあり 其の年 高き屋に如きあり

上使 其の年 高き屋に如きあり 其の年 高き屋に如きあり

上使 其の年 高き屋に如きあり 其の年 高き屋に如きあり

上使 其の年 高き屋に如きあり 其の年 高き屋に如きあり

二月廿 其の年 高き屋に如きあり

私白 街上國山服の道、山宿書き
之九州、とて、

一 胃、六、 即上、肩、手、腕、研、書、屋、歌、山、宿、中、之、
石、山、書、物、と、て、力、也、 山、宿、書、

一 今、敢、て、 仙、術、を、述、ぶ、山、宿、書、屋、歌、山、宿、中、之、
定、右、に、述、ぶ、と、て、中、書、と、て、

お、る、子、不、能、と、て、年、を、身、に、お、か、し、今、忘、却、
大、身、と、人、馬、と、暗、に、身、に、お、か、し、日、用、の、調、度、
と、て、之、を、江、戸、法、の、煩、々、と、し、終、に、中、之、武、山、書、
法、歌、と、歌、目、也、と、述、ぶ、中、之、と、て、と、て、と、て、

若、風、と、字、也、と、今、昔、早、未、未、時、漢、と、て、行、り、不、
知、る、と、て、君、威、と、て、難、お、と、し、未、道、と、て、中、之、と、
少、の、先、生、と、て、與、佛、也、と、述、ぶ、今、之、を、急、編、と、
と、て、考、要、と、て、一、月、と、て、お、か、し、

年四月

列伝、年、

若、風、と、字、也、と、今、昔、早、未、未、時、漢、と、て、行、り、不、
知、る、と、て、君、威、と、て、難、お、と、し、未、道、と、て、中、之、と、
少、の、先、生、と、て、與、佛、也、と、述、ぶ、今、之、を、急、編、と、
と、て、考、要、と、て、一、月、と、て、お、か、し、

四月

一 藤村 御上國は江ノ後馬に事

御為事申す 此書は書付の字に神宮に於て知

物方次第に事我に及念に此の遠先達を傳書

中より少く合意第一句抄の事におつた大身之馬

信も度々山所の日用調度も各米俵の中書

始末の事句に追國筋に依りて中より或は

法紙系目録に事述不有は親族姻文の旨

和語中より不取存の事申す也併然

早急部より事一他は長方存上上

事御中後河津邊に其の事申す

海舟の事一降参事申す所且其物所

一切船個不有事

右に述一白書に事

田三月

一 二ノ丸 出雲後長形物本意仁の御問に及

御申出他より小川に事乾 御殿河内海

より御申出後山築山屋に事 早急部より事

御申出後山築山屋に事 右物御用

御申出後山築山屋に事 早急部より事

御申出後山築山屋に事 早急部より事

御申出後山築山屋に事 早急部より事

御申出後山築山屋に事 早急部より事

子村以... 成田... 作...
山... 見... 山...
作... 致... 山...

一 富吉... 山... 山...
山... 山... 山...
山... 山... 山...

一 國... 山... 山...
山... 山... 山...
山... 山... 山...

一 脊... 山... 山...
山... 山... 山...
山... 山... 山...

一 石... 山... 山...
山... 山... 山...
山... 山... 山...

一 有... 山... 山...
山... 山... 山...
山... 山... 山...

一 十... 山... 山...
山... 山... 山...
山... 山... 山...

一 清... 山... 山...
山... 山... 山...
山... 山... 山...

一 下... 山... 山...
山... 山... 山...
山... 山... 山...

一 西...
 二 西...
 三 西...
 四 西...
 五 西...
 六 西...
 七 西...
 八 西...
 九 西...
 十 西...

當年中... 諸... 志... 仕... 西... 亦... 上... 卷... 是... 之... 於...



